

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

能登の地で守り伝える営みの

生命と暮らし未来に繋げて

●東京都葛飾区 村井正夫

大地行く踏みしめ歩む畦の春

芽吹きがすすむ風も微笑み

●平塚市 田中博由

越後地に春を告げるや雪割草

陽光むさぼり土を持ち上ぐ

●長岡市 近藤 博

残雪がのこる稜線日毎消え

陽ざしまばゆきアルプスの嶺

●諏訪市 太田章穂

朝ぼらけ小鹿3頭どこへやら

吐く息白く霜降る中を

●福知山市 岬尾 充

みちのくじゃバツケと呼ばれるふきのとう

採るも食べるも春の楽しみ

●山口市 中沢桂三

俳 句

雪の朝孫の送迎光射す

●仙台市 菱沼俊行

兄二人黄泉へ送りにて冬の月

●神栖市 安澤宏介

ほころびもぬか喜びか梅に泡

●小山市 塚野 京

通学児風に向かいて石路の花

●本庄市 入 利雄

白梅の枝移り合ふ目白かな

●本庄市 長谷川千鶴子

柚子湯して今日の憂いや忘れけり

●草加市 長谷部禎子

運氣呼ぶ香りの中の梅畑

●戸田市 篠崎志津子

大輪のパンジイ笑う今朝の庭

●朝霞市 林 則雄

原つぱに球追う球児春の風

●武蔵村山市 原野晴光

雪が舞う朝の散歩に防寒衣

●須坂市 関 光男

縁側にたばこくわえる日向ぼこ

●塩尻市 大家協治

陽のひかりひろいあつめて堀の鴨

●塩尻市 奥原光夫

シクラメン花芽サクサクかがり火よ

●塩尻市 小野正平

新雪やネコの足跡いづこやら

●塩尻市 清沢美恵子

地下道を抜けて小春の春霞

●塩尻市 町田まさ子

ふきのとう草にまみれて顔を出す

●綾部市 岩瀧憲一

元日に揺り起こされし能登地震

●長岡京市 宮先一雄